



栃木精工(株)

代表取締役社長

かわしまひろき
川嶋 大樹 氏

1948年に栃木市で創業して以来、今年で78年目。主に医療分野に向けて、さまざまな製品を送り出しているほか、産業用途の精密パイプや磁気センサーコアなども製造・販売している。

一昨年から昨年にかけて設計開発部の新社屋が完成し、これまで以上に環境が充実した。「昨年は自社ブランド『JIMINI』(ジミニ)の製品開発も本格的に始まりました。医療分野でも産業分野でも、名前の通り『地味だが重要』な

製品を生み出しています」と手応えを語る。そのラインナップの中核をなすのが、バイオ関連。同社の製品は、がん治療用ナットラクターやバイオ関連医療機器など、幅広い分野で活躍する。また、医療機器の高機能化が進むにつれて、より高い顧客満足度が得られるよう努力しています。これに備して、1年がかりで丁寧な説明を入れている最先端バイオ医療の分野は、これから成長が期待できるだけではなく、社会貢献度も高い。「新しい時代の医療の発展に貢献したい人は、ぜひ私たちの社に来てください」と力を込める。

この先端医療にとって重要な役割を果たすと期待されており、既に数年先までのオーダーが来ているという。 「私どもでは、顧客のオーダーをたまにできていると考えています」と自信をみせる。

今年の新たな飛躍の準備も整った。 「近年のテーマは、健康経営の充実です。休日の増加や夜勤帯の縮小などを実現しつつあります。優れた

心身ともに社員の健康を充実させることが企業の成長力を飛躍させるとの思いが、成長の原動力となっています」

な要因で、顧客に価格転嫁を要請せざるを得なかつた。詳しい資料を準備して、1年がかりで丁寧な説明を

鍵ですから、社員の健康はそのための重要なファクターです」。今力を入れている最先端バイオ医療の分野は、これから成長が期待できるだけではなく、社会貢献度も高い。「新しい時代の医療の発展に貢献したい人は、ぜひ私たちの社に来てください」と力を込める。

な要因で、顧客に価格転嫁を要請せざるを得なかつた。詳しい資料を準備して、1年がかりで丁寧な説明を

鍵ですから、社員の健康はそのための重要なファクターです」。今力を

入れている最先端バイオ医療の分野は、これから成長が期待できるだ

けでなく、社会貢献度も高い。「新

しい時代の医療の発展に貢献したい

人は、ぜひ私たちの社に来てください」と力を込める。

な要因で、顧客に価格転嫁を要請せざるを得なかつた。詳しい資料を準備して、1年がかりで丁寧な説明を

鍵ですから、社員の健康はそのための重要なファクターです」。今力を

入れている最先端バイオ医療の分野は、これから成長が期待できるだ